

児玉誉士夫 国家主義運動家。テロ活動後、汪兆銘の護衛役、戦略物資調達児玉機関、<敗戦>後は最強のフィクサー。

こだまよしお

大逆事件判決1911 = 福島県安達郡本宮町で、没落した旧二本松藩藩士児玉西四郎の次男に生まれる。

明治天皇没・1912 = 1歳：

大暴落・・・1920 = 9歳：姉の嫁ぎ先の朝鮮竜山の家に預けられ、

原敬首相暗殺1921 = 10歳：

京城商業専門学校を卒業。

工場の単純労働者として辛酸を舐め、社会主義に傾倒するが、超国家主義に転じて、頭山満に私淑。

世界恐慌・・・1929 = 18歳：赤尾敏が創設した建国会に入会、明治神宮参拝の天皇の歯簿に直訴し不敬罪で懲役6ヵ月に処せられ、

満州事変・・・1931 = 20歳：津久井竜雄の急進愛国党に入会し、国会議場内でピラを撒布し、井上準之助蔵相に短刀を送りつけた事件で懲役5ヵ月に処せられる。

五一五事件・1932 = 21歳：出所すると、満洲に渡り、笠木良明主宰の大雄峯会に参加。帰国して、独立青年社を結成。頭山満の三男秀三主宰の天行会の若手4人がダイナマイト・ガソリンで発電所爆破、重臣宅への放火、殺害を企図した未遂事件天行会独立青年社事件で懲役3年6ヵ月に処せられる。

日中戦争始・1937 = 26歳：出所、笹川良一が結成した国粋大衆党に参加。

健保+総動員1938 = 27歳：海軍の囑託となり、

第二次大戦始1939 = 28歳：参謀本部の依頼で中国に渡り、上海の工部局長の暗殺をはかるが失敗。支那派遣軍の囑託となり、江兆銘の護衛にあたる。

日米開戦・・・1941 = 30歳：海軍航空本部の依頼で、戦略物資の買付けを行う児玉機関を設置、

占領地・非占領地内の物資買付けに活動する。

敗戦・・・1945 = 34歳：敗戦後、東久邇内閣の参与を務めるも、戦犯となり服役、

新憲法施行・1947 = 36歳：

極東裁判判決・1948 = 37歳：出所後、

朝鮮戦争始・1950 = 39歳：北炭夕張炭鉱労組を弾圧すべく暴力団を送り込み、

独立回復・・・1951 = 40歳：

自衛隊発足・1954 = 43歳：河野一郎を首相にすべく画策し、

55年体制始・1955 = 44歳：鳩山内閣実現、保守合同の黒幕として政界の蔭の実力者として君臨。

国連加盟・・・1956 = 45歳：

全日本愛国者団体会議(全愛会議)の指導者の一人となり、

ロッキード社・1958 = 47歳：ロッキード社の秘密代理人となる。

美智子妃・・・1959 = 48歳：スカルノ大統領のもとに、高級クラブホステスのデヴィを送り込み、荒稼ぎ。

安保闘争・・・1960 = 49歳：生前葬を行う一方、安保改正反対運動のデモ隊阻止にも暗躍。

タイタイ病始・1961 = 50歳：自らに忠実なグループ青年思想研究会(青思会)が誕生、

全国総合計画1962 = 51歳：反共防波堤となる強固な組織をつくらせ、東亜同友会の結成に向けて準備(実現せず)、

TV宇宙中継始1963 = 52歳：関東と関西の暴力団の手打ちを実現するなど、最強のフィクサーとなるに至る。

大学紛争始・1965 = 54歳：この年実現した日韓国交回復にも重要な役割を果たす。

美濃部都知事1967 = 56歳：笹川良一による後に統一教会系の国際勝共連合につながる第一回アジア反共連盟結成準備会にも関与。

青思会を全愛会議から脱退させて、日本最大の行動右翼団体に育て上げ、

全共闘母体・1969 = 58歳：住吉連合を母体とする右翼団体日本青年社の旗揚げにも参加、任侠右翼の始まりとなる。

日中国交回復1972 = 61歳：*三光汽船によるジャパンライン乗っ取り事件のほか、多くの乗っ取り事件に関与。田中角栄が首相になると、共通の友人小佐野賢治を介して、全日空へのロッキード航空機売り込みに成功。

石油ショック1973 = 62歳：

角栄金脈辞任1974 = 63歳：

クランブル事件1975 = 64歳：

田中角栄逮捕1976 = 65歳：*ロッキード事件が発覚、衆議院での証人喚問発作を起こして病臥、被告として裁判に付され、

JALハイジャック・1977 = 66歳：一度だけ出廷するも、以後自宅に閉居し、

中曽根内閣・1982 = 71歳：

ディベネラント1983 = 72歳：

・・・1984 = 73歳：判決直前、再び発作を起こして、没した。